

令和5年11月1日

青森市政記者会 様

青森市企画部連携推進課長

青森ねぶた祭×Creema アップサイクルプロジェクト
記者発表会について（情報提供）

本市では、今年度からスタートした公民連携の取組として、日本最大のハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーマ)」を運営する株式会社クリーマと連携し、「青森ねぶた祭」とタイアップした「青森ねぶた祭×Creema アップサイクルプロジェクト」を実施しており、この度、全国の24名のクリエイターの皆さんが、ねぶた祭終了後に廃材となるねぶたの和紙を活用した作品を制作しました。

つきましては、当該プロジェクトについて、記者発表会を開催します。なお、当日は、青森市長から、完成作品の今後の展示予定についても発表します。

青森ねぶた祭をサステナブルに未来に受け継いでいくためにも、多くの皆様に当該プロジェクトをお知らせしたいと考えておりますので、取材・報道いただきますようお願いいたします。

なお、取材に当たりましては、別添資料に沿って株式会社クリーマに取材申込書の送付をお願いします。

【問合せ先】

青森市企画部連携推進課

担当：主査 竹内、主幹 伊藤

電話：017-761-4154

【記者発表会のご案内】“日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクト”

第1弾「青森ねぶた祭」―“廃棄されるねぶたの和紙”を活用したオリジナル作品 24点を初公開
高知・よさこい祭り、秋田竿燈まつりも続々決定！クリエイターの技術と創造力で実現する、サステナブルなものづくり

日時:11月6日(月)11:00～11:30 / 会場:クリーム本社 8F (渋谷区神宮前)



青森ねぶた祭 × Creema アップサイクルプロジェクト



日本最大のハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーム)」を運営する株式会社クリーム(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:丸林耕太郎、以下クリーム)は、“日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクト”第1弾として「青森ねぶた祭」とコラボレーションし、廃棄される“ねぶた”の和紙を活用した新たなものづくりに取り組む、「青森ねぶた祭×Creema アップサイクルプロジェクト」を開催しました。100点以上の応募の中から、厳正なる選考の結果、24点のオリジナル作品が完成し、11月6日(月)よりCreemaにて発売開始となります。これに伴い同日、メディアの皆さまを対象とした記者発表会を実施いたします。

【企画背景】

“日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクト”は、祭によって生まれた廃材を、クリエイターが確かな技術と創造力で新たな価値を加えたアイテムに生まれ変わらせ、それをCreemaのプラットフォーム基盤や発信力による新たな視点から祭の魅力を伝えることで、伝統ある祭をサステナブルに未来へと受け継いでいくことを目指します。本プロジェクトは、「青森ねぶた祭」に続き、第2弾は「高知・よさこい祭り」、第3弾に「秋田竿燈まつり」とのコラボレーションが決定しています。

第1弾の「青森ねぶた祭」は、青森市で毎年8月に行われる東北三大祭の一つで、1980年に国の重要無形民俗文化財に指定された伝統ある祭です。毎年20数台もの大型ねぶたが市内を練り歩き、200万人を超える人出でにぎわいます。幅約9m、奥行き7m、高さ5m、重さ約4トンに及ぶねぶた作りには、高い技術を持つねぶた師の存在が欠かせませんが、人口減少とともにねぶた師の担い手も少なくなっています。そして時間と手間暇をかけて作り上げたねぶたは、6日間にわたって行われた祭の後、引き取られるもの以外は解体し、廃棄処分されている現状があります。

この廃棄されるねぶたの和紙を活用して、24組のクリエイターがアップサイクル作品を制作しました。完成した作品はCreema限定でオンライン販売されるとともに、特設ページやブログ記事・SNS等での紹介を通じて広く発信されるほか、青森のアンテナショップ「AoMoLink(アオモリンク)赤坂(東京・赤坂)」、2024年の「青森ねぶた祭」、そして日本最大級・クリエイターの祭典「ハンドメイドインジャパンフェス(東京ビッグサイト)」でも展示されます。

記者発表会には、青森市長 西秀記氏、クリーム代表 丸林耕太郎が登壇し、本取り組みの全体像をご説明するとともに、完成作品24点のお披露目を行います。本プロジェクトをより多くの方に知っていただきたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

■ 日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクト第1弾「青森ねぶた祭」 記者発表会概要

- 日時 : 2023年11月6日(月)11時00分～11時30分頃(受付10時30分～)
会場 : 株式会社クリーム本社 8F (東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル 8F)
登壇者 : 青森市長 西 秀記氏、(株)クリーム代表取締役社長 丸林耕太郎
内容 : 企画趣旨のご説明、完成作品のご紹介、質疑応答、フォトセッション
※当日、ねぶた師や参加クリエイターからのコメントも配布予定です

■日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクト

クリームでは、日本各地の祭で発生する廃棄物を素材に「Creema」で活動する26万人以上のクリエイターに作品づくりを広く募集し、新たな命を吹き込む“日本の祭×Creemaアップサイクルプロジェクト”を行っています。Creemaを通じたwebとリアルを融合させた幅広い発信で多くの人々に届けることにより、新しい視点から祭の魅力を伝えます。

「青森ねぶた祭」を皮切りに、「高知・よさこい祭り」「秋田竿燈まつり」とのコラボレーションも決定。クリエイターが確かな技術と創造力で廃材をアップサイクルし、日常的に使いやすいアイテムとして生まれ変わらせることで、廃棄問題・後継者不足といった課題解決の一助となり、伝統ある祭がサステナブルに未来へと受け継がれていくことを目指します。

【日本の祭×Creema アップサイクルプロジェクトについて詳しくはこちら】

- ・第1弾: 青森ねぶた祭: <https://www.creema.jp/event/aomori-nebuta>
- ・第2弾: 高知よさこい祭り: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000206.000018086.html>
- ・第3弾: 秋田竿燈まつり: ※11月6日公開予定

■ 青森ねぶた祭とは

東北三大祭りの一つに数えられる青森ねぶた祭は、1980年に国の重要無形民俗文化財に指定されています。起源には諸説あり、一説では、奈良時代に中国から渡来した「七夕祭」と、「眠り流し」と呼ばれる災厄を追い払う風習が習合したと言われています。

毎年8月2日～7日、勇壮な大型ねぶた20数台が、ねぶた囃子の音色に合わせた踊り手の跳人(はねと)の乱舞とともに青森市内を練り歩く夏の風物詩として、200万人を超える人出でにぎわいます。



〈「青森ねぶた祭×Creema アップサイクルプロジェクト」作品一覧(一部抜粋)〉

[スマートフォンケース]



astin muhler(大阪府)
ねぶたの和紙を、日本の伝統技法「金継ぎ」を連想させるデザインで繋ぎ合わせた。

[豆乳パックの鞆]



ミルクぱく子(福岡県)
豆乳の空きパックとねぶたの和紙をアップサイクルしたバッグ。

[時計]



シーブレン(石川県)
山中漆器の「ろくろ引き」の技法で作られた時計。文字盤にねぶたの和紙。

[猫型ランプ]



GOROGORO KOYONAKU(高知県)
土佐和紙で作られたランプにねぶたの和紙を羽織のように組み合わせ合わせた。

[ポチ袋]



ten & sen(青森県)
ねぶたの和紙の柄を活かした気球モチーフのポチ袋。

[ピアスとブローチ]



RING YUFU(東京都)
ねぶた師の力強い筆遣いと和紙の質感をそのまま活かしたアクセサリ。

[キャンドルホルダー]



sora(青森県)
ねぶた和紙を閉じ込めたキャンドルホルダー。キャンドルを灯すと、和紙の鮮やかな色あいを楽しめる。

[モビール]



toke(千葉県)
青森の名産品「りんご」のモチーフと、伝統技法の「こぎん刺し」の模様の切り絵を組み合わせたモビール。

■ハンドメイドマーケットプレイス「Creema」とは

Creemaは、創作活動に取り組む全国のクリエイターと生活者が、オンライン上で直接オリジナル作品を売買できる CtoC マーケットプレイスです。「本当にいいものが埋もれてしまうことのない、フェアで新しい巨大経済圏を確立する」ことを目指して、2010年にサービスを開始しました。現在約25万人のクリエイターによる1,600万点以上のオリジナル作品が出品され、その流通総額は約170億円となり、日本最大のハンドメイドマーケットプレイス(※)として市場の拡大を牽引しています。

また、オンライン上だけでなく、東京ビッグサイトでの大規模イベント「ハンドメイドインジャパンフェス < <https://hmj-fes.jp/> >」や、音楽とクラフトの野外フェスティバル「Creema YAMABIKO FES < <https://www.yamabikofes.jp/> >」の開催など、クリエイターの作品を生活者がリアル場で購入できる取り組みも推進し、日本のクラフト文化の醸成に力を注いでいます。 <https://www.creema.jp/>

※国内ハンドメイドマーケットプレイスサービスにおける流通総額(取扱総額)および売上金額・2022年4月～2023年3月・当社調べ

<会社概要>

商号: 株式会社クリーム

住所: 東京都渋谷区神宮前 2-34-17 住友不動産原宿ビル 7-8F

代表: 代表取締役社長 丸林 耕太郎

資本金: 1,079 百万円 (資本準備金を含む・2023年2月末時点)

社員数: 105 名 (2023年2月末時点)

事業: クリエイターエンパワーメント事業

・ハンドメイドマーケットプレイス: Creema

・イベント: ハンドメイドインジャパンフェス(東京ビッグサイト)、Creema YAMABIKO FES(長井海の手公園 ソレイユの丘)等

・動画レッスンプラットフォーム: FANTIST

・クラウドファンディング: Creema SPRINGS

・アライアンス: 地方創生、PR 支援サービス等

【ご取材申込書】

E-mail: creema_pr@creema.co.jp / FAX: 03-6447-0057

株式会社クリーム 広報 宛 【締切: 2023年11月2日(木)17:00】

貴社名	
貴媒体名／番組名	
代表者名	
TEL	
E-mail	
ご取材予定日時	
人数	
カメラ有無	テレビカメラ / スチールカメラ / カメラ無し

報道関係者お問い合わせ先

株式会社クリーム 広報 柴田、松永、重岡

Email: creema_pr@creema.co.jp / TEL(柴田)070-3831-1472

* 事前のお申し込みがない場合、取材をお受けできない場合がございます。

* 当日はお名刺をご持参くださいますようお願い申し上げます。